

日本医療福祉政策学会第3回研究例会

パネルディスカッション「働き方改革」と地域医療－政策はいかにあるべきか

日時：2019年8月4日（日） 午後1時30分より、4時30分まで

場所：立命館大学朱雀キャンパス 308 教室(京都市中京区西ノ京朱雀町1、地下鉄・JR 二条駅徒歩2分程度) <http://www.ritsumei.ac.jp/accessmap/suzaku/>

*会場のある3階までは、正面玄関の右手にあるエレベータをご利用下さい。

主催：日本医療福祉政策学会

共催：立命館大学人間科学研究所インクルーシブ社会・医療サービスプロジェクト

趣旨：

一般的にあって、医療現場での労働あるいは働き方をめぐる改革では、複雑な二つの課題を追求していくことを要請される。つまり、医療従事者の労働安全、ワークライフバランス、労働生活の質(Quality of Working Life, QOWL)を高めていく課題と、地域医療そして医療機関の機能を維持・向上していくという課題である。今回は、現在日本で争点となっている医師に対する政策のあり方を中心に、「働き方改革」と地域医療に関わる政策的課題を多面的に検討し、政策・研究上の課題を浮き彫りにし、共有したい。

コーディネーター・座長 松田亮三（立命館大学）

報告者<演題はいずれも仮題、敬称略>

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1. 医師労働力をめぐる政策－理論と経験 | 松田亮三（立命館大学） |
| 2. 必要医師数の推計方法をめぐって | 佐藤英仁（東北福祉大学） |
| 3. 勤務医の労働と「働き方改革」 | 植山直人（全国医師ユニオン） |
| 4. 病院経営の立場から－働き方改革にも言及して | 吉中丈志（公益社団法人京都保健会） |
| 5. 開業医と「働き方改革」 | 中村暁（京都府保険医協会） |

参加申し込み：

資料準備の都合上、研究会の5日前まで（7月30日まで）に、下記のウェブのフォームあるいはファックスにて、参加申し込みをお願いします。

(ウェブ) <https://forms.gle/EK1sDnEViDfGMArk9>

(ファックス) 075-465-8245 (宛先：立命館大学人間科学研究所インクルーシブ・医療サービスプロジェクト)。申し込み書式は特に指定しませんが、本研究例会への参加希望に加えて、①ご氏名、②ご所属、③本学会への加入状況、についてのご記載をお願いいたします。

*参加申し込みがなくともご参加いただけますが、配布物は事前に申し込まれた方に優先的にお渡しいたします。また、多数ご参加の場合、会場の都合でお断りする場合がございます。